



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

1984. 3. 15

10

To Club Presidents and Secretaries of DISTRICT 260

**Share Rotary—
Serve People**

みんなにロータリーを—
みんなに奉仕を

新クラブ設立と会員増強について

北海道の第250地区ガバナーの月信によると、最北端の礼文島及び利尻島に三つのR.C.が設立されたことが報ぜられている。大原ガバナーは月信7, 8号にその詳細を書いておられるが、利尻礼文サロベツ国立公園に指定されている両島の三つの町に、当時健康を害しておられたガバナーが、スケルトン会長の指針を実践するべく全力を投入して活躍された様子を拝見し、驚嘆の念を禁じ得ない。

新しく誕生した礼文、利尻、利尻島の3 R.C.は、人口共に6,000名前後の礼文町、東利尻町、利尻町に設立され、創立会員は夫々26名、29名、28名とのことである。日本列島の北端の離島に、共に手を携えて誕生した3 R.C.に心からの拍手を送り、地域発展にご尽力されるよう願ってやまない。

「ロータリーの友」3月号に載ったクラブ数によれば、12月末現在で25のR.C.が誕生したこととなる。——3クラブ誕生が2地区、2クラブ誕生が5地区、1クラブ誕生が9地区——後半期には更に新クラブが増えて、低成長時代にもかかわらず、近年には珍しく拡大の年となるであろうが、当地区としてもスケルトン会長のテーマに依りて、尾張中央、長野北の両R.C.が誕生、来月には松本東R.C.が設立される予定となっている。大原ガバナーのご活躍にくらべて慙愧にたえないが、種々のご尽力を戴いてきた北野パスト・ガバナーはじめ、宮川西尾張、塚田東北信の両分区代理、野田真一、木村 恕両特別代表、西春日井、長野東両R.C.、及び神沢伯郎特別代表、松本R.C.の皆様方に心より感謝を申し上げます。

今期の拡大についてもうひとつ申し上げたいことは、いわゆる地方都市である長野、松本の両市が4クラブを持つことになった点であって、他の地区を見ると、青森、山形、福島、宇都宮、高崎、小田原、甲府、富山、姫路、下関、宮崎等にその例を見ることができ、当地区においては初めてである。外部拡大というも、内部拡大というも、会員増強に変わりなく、新クラブを設立するのが増強に最も効果のある手段であることは、松本を例にとれば、人口1万人に対し会員数12.5名であることから見て判る。因みに、愛知県が6.5名、長野県では7.9名。もし、松本に1クラブしかなかったとして、それが200名以上の会員を持つクラブになるというのは、かなり困難なことと思われる。

本年度のみならず、来年度も、会員増強は年度の主要目標となろう。やがては地区分割が地区の重要懸案ともなろうが、時代の変化を充分に考慮して、各クラブ共拡大、増強につとめられるよう切望する次第である。

事務所 〒390 松本市中央1-9-18(松本商工会館内) TEL (0263) 36-6588

ガバナー 奥澤俊一

スケルトン R.I. 会長より地区ガバナー宛の書翰要約

全地区ガバナー各位

1983. 2. 16.

拝 啓

私達のチームとしての年度はまだ4ヵ月もあり、任期の3分の1の残余期間があります。

皆様からの報告書を拝見いたしますと、これまでに達成された業績の数々が非常に有意義で立派なものであり、それらの成果を知り、誠に嬉しく思う次第です。

1983-84年度における現在までの達成報告は次の通りです。

クラブ数 ……………20,457 (純増270)

新クラブ数 …………… 281

CENAEM …42 USCB ……64

ANZAO …27 GB&I ……10

ASIA ……84 SACAMA …54

ロータリアン数……932,500 (純増6,430)

クラブ会長へのR.I. 会長賞…250

ガバナーへのR.I. 会長賞……2

財団への寄付……10,956,737ドル

財団寄付の増加率 20.9%

新しいクラブの結成に当り、皆様に援助されご尽力下さったロータリアンの方々に対し、会長賞を授与して表彰することを忘れてはならないのであります。

皆様の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

敬 具

ウィリアム E. スケルトン

ロータリー財団 Glenn 氏よりの書翰要約

地区 R 財団寄付小委員会委員長各位

親愛なるロータリアン： 1984. 3.

1983年12月31日までの6ヵ月間の寄付累計は\$ 7,530,256 を記録しました。これは11%の上昇です。管理委員会に代り、貴殿の財団推進活動に心からお礼申し上げます。

さて、本年度、追加奨学金は新しい基準のもとに支給されることになっています。追加奨学金の口数は寄付金\$ 21,000の倍数を基準にして算出されます。(月信7号2頁参照) 貴殿もその目標を再度ご検討下さい。希望数の追加奨学金を受領できるよう、その目標に向かって前進しているでしょうか。

全てのクラブは財団特別月間(11月)中、財団のプログラムを実施されたでしょうか。また貴地区は研究グループ交換補助金あるいは特別

補助金を申請されたでしょうか。貴地区内の全員が関心を抱くよう努めて下さい。

当事務局にてお役に立つことのございます際にはご遠慮なくお申し送り願います。

敬 具

Glenn A. Engblom

Assistant Development Mgr.

The Rotary Foundation

Glenn 氏より当 260 地区宛の別信より

貴地区の寄付累計が1982年12月の累計に比べ増加いたしました事をお祝申し上げます。

1983年12月31日現在の記録によりますと、この半期を通じての累計は\$ 28,985の上昇を見ております。今後共立派な成績を維持されますことを期待いたします。

青少年交換プログラムについての調査報告

1982-83ロータリー年度期間中、国際的青少年交換はロータリーの最も一般的且つ成功したプログラムの一つとして続けられ、ハイ・スクールの年令の青少年の数を増やし、彼らにこの世界を構成している沢山の異った文化の一つを経験する機会を与えてきました。R.I. に報告されたところによれば、1982年7月1日から1983年6月30日までの間に6810名*の若者が、336の地区(世界中の地区数の82%)のロータリー

・クラブによって行なわれな青少年交換プログラムに参加しました。これらの若者は次の54カ国からの参加であります。

アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、バーミューダ、ボリビア、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、コスタ・リカ、デンマーク、ドミニカ、エクアドル、エジプト、フィンランド、フランス、ドイツ、イギリス、ギリシャ、ホンデュラス、香港、

アイスランド、インド、インドネシア、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、ケニア、ルクセンブルグ、マレーシア、メキシコ、オランダ、ノルウェー、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、フィリピン、ペルー、ポルトガル、シエラ・レオネ、南アフリカ、韓国、スペイン、スリ・ランカ、スウェーデン、スイス、台湾、タイ、トルコ、米国、ウルグアイ、ベネズエラ、ジンバブエ。

次のデータは、六つのロータリー地域(注**)から何人の学生が交換のために送られたかを示しています。(これらの数字は地域毎の学生の母国を示している)

	長期	短期	計	百分率	身障者 (集計に含む)
GB&I	10	765	775	12	15
CENAEM	770	1,520	2,290	34	50
ASIA	315	165	480	7	55
SACAMA	475	120	595	9	0
USCB	1,385	415	1,800	27	0
ANZAO	675	45	720	11	0
全世界計	3,630	3,030	6,660*	100	120

交換学生は、六つの地域内の地区及びクラブから次のように迎えられました。(これらの数字は学生の受入国を地域別に示している)

	長期	短期	計	百分率	身障者 (集計に含む)
GB&I	10	730	740	11	63
CENAEM	785	1,505	2,290	34	68
ASIA	330	175	505	7	69
SACAMA	445	25	470	7	0
USCB	1,505	615	2,120	31	0
ANZAO	640	45	685	10	0
全世界計	3,715	3,095	6,810*	100	200

* 学生送出国と受入国の合計数は、返答率が100%に満たないために等しくなっている。

早期帰国者

85名の学生が交換期間満了以前に帰国したと報告されています。これらの早期帰国者は報告された交換者の1.2%を構成しており、下記は早期に家に帰された学生について最も共通した10の理由です。

1. 新しい文化に適応不能
2. 病気
3. 無作法——交換計画の規則無視
4. ホームシック
5. 盗み
6. 恋愛問題

7. 家族の問題
8. 感情問題
9. 麻薬
10. 学校の質の低さ

青少年交換計画の5年毎の比較

	1977-78	1982-83	増加%
全世界の参加地区	51%	82%	31%
学校年度交換	1,786	3,715	108%
短期(休暇)交換	2,952	3,095	48%
交換学生数 計	4,738	6,810	44%

地区青少年交換事業

下に示すのは、種々の観点から見た地区青少年交換事業のロータリー地域別の一般的なデータであります。

	送り出す学生 に語学研修を 行う	オリエンテーションを行う 送り出し 学生に	受け入れ 学生に	指針に則ってホ ストファミリー を提供する	ロータリー ンのホスト ファミリー の割合
GB&I	0%	0%	0%	0%	98%
CENAEM	7	57	50	87	70
ASIA	33	97	93	97	88
SACAMA	65	91	86	91	66
USCB	6	89	80	97	70
ANZAO	39	100	82	100	91
全世界平均	25	72	65	79	81

** 全ての地区は、地域的に六つのロータリー地域に区分される。

GB&I	イギリスとアイルランド
CENAEM	欧州大陸、北アフリカ、東地中海地域
ASIA	アジア
SACAMA	南米、中米、メキシコ、アンティラス諸島
USCB	アメリカ合衆国、カナダ、バーミューダ、プエルトリコ
ANZAO	オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ(地中海沿岸の国と地域を除く)及び他のグループに含まれない所

雑誌月間の準備を

4月はロータリー雑誌月間です。雑誌についての特別プログラムを計画して下さい。1980年7月1日よりR.I.の公式地域雑誌となった「ロータリーの友」の活用、また英語版「ROTARY-NO-TOMO」の効果的利用の検討もひとつの方法です。

尾張第一分区 I.G.F.開催報告

尾張第一分区代理

田 中

徹



と き 2月19日(日)
ところ 名古屋都ホテル
出席者 341名
ホスト 半田R.C.

今の時代は大衆化社会の量が質を創り出す時代。Share Rotary—Serve People の会員を増強し、一人でも多くの人々にロータリーを分かち合おうの主旨を踏まえ、四つの分科会を持った。

事前に、分区内19クラブには下半期の会員増



強計画、新しい奉仕活動への取組み、クラブ運営上の諸問題につきアンケートを依頼。また、新入会員80余名に対しては、努力したい奉仕内容、クラブや先輩会員への要望、理想とするロータリアン像などにつき同様にアンケートを求め、当日の資料とした。

第一分科会（会長、幹事、次期会長）

会員増強については、各クラブがそれぞれ方策を立て、1月末までに最高26名増強したクラブもあり、各クラブとも極めて順調に進行。こ

の鍵となるのは、会員の意識向上と行動であることが強調された。新しい奉仕活動では、インテリジェンス・サービス、青少年との運動実技を通しての奉仕、非行防止、クラブ創立日を記念しての取組みがあった。テリトリーについては、特に問題提起はなかった。

第二分科会（R財団、米山奨学会）

R財団、米山奨学会の現況、さらに寄与率を高めるにはどのような方法があるか、が話し合われた。

第三分科会（インターアクト、ローターアクト）

分区として活動が最も停滞している分野であり、リーダー、アドバイザーから基礎的な骨格の説明と現況報告をいただき、今後の前進が期待された。

第四分科会（新入会員）

アンケート結果では95%がロータリー・クラブに入会できて良かったと感じているが、フレッシュな眼で見たクラブの印象では、非活動的であると答えた数例があり、先輩会員に望みたい事として、もっと親しくしてほしい、いろいろ教えてほしい、という意見が多かった。会員増強に応じて同化と教育と親睦の重要性をもとに、活動するロータリアンになるよう指導があった。

最後に、例年、この分区は地区のトップを飾ってI.G.F.を開催しているが、奉仕活動でもトップに立つて頑張っているとの奥澤がバナーからの講評があり、成功裡にI.G.F.を終了した。



西尾張分区 I.G.F.開催報告

西尾張分区代理

宮 川 正 春

尾張第二分区の分割後初めての西尾張分区I.G.F.が、去る2月26日(日)一宮北R.C.のホストにより、一宮スポーツ文化センターに於て開催された。当日

は雨天にもかかわらず分区外クラブ（瀬戸）及び新クラブ尾張中央クラブ（全員参加）を含め222名の参加を得、盛会に開催できたことはホストクラブとしてこの上なき喜びであります。

宮川正春西尾張分区代理をフォーラムリーダーに、奥澤俊一ガバナー、奥谷博俊ガバナー・ノミニー、アドバイザーに安野譲次P.G., 佐藤知雄P.G., 山田市三郎P.G., 森 泰樹P.G., 大隈孝一P.G., リーダーに大久保審也(西春日井R.C.), 田中清隆(あまR.C.), 安藤 巖(尾西R.C.), 野口政一(一宮R.C.), 山田 元(稲沢R.C.)並びに児玉秀雄分区代理ノミニーの各氏をお迎えして行なわれた。

奥澤ガバナーより「分区が分割され本当の意味でのインターシティー・ゼネラル・フォーラムを行なうことができるようになったので、会員各位の心置きない意見交換をお願いしたい」と挨拶があり、続いてフォーラムリーダー宮川分区代理より「当分区は7クラブであったが、このたび西春日井R.C.をスポンサーとして尾張中央クラブが発足したので8クラブとなり、新クラブの全員が本日のI.G.F.に参加され喜んでい。最近青少年問題が大変やかましくなっている、このたびのI.G.F.には特に青少年奉仕部門を設けた。クラブ奉仕を始めとし、5部門がそれぞれ40名程度だから全員の発言を期待する」との挨拶の後、各リーダーから討議課題を出題、説明があり、昼食のため休憩。

12時20分より部門別討議に入る。各リーダー並びにアドバイザーを中心に熱心な討議が行なわれた。分区分割により規模が小さくなったことから参加者全員に発言のチャンスが与えられ、意識高揚の身近な場となったことが大きな収穫ではなかったかと思われる。事実参加者全員の発言がなされた部門があった。

1時間40分が経過し、部門別討議内容の発表となり、フォーラムリーダー挨拶、ガバナー講評と続くが奥澤ガバナーから本年度R.I.会長ウィリアムE.スケルトン氏の提唱事項であるロータリーの拡大増強について、正会員は各クラブ

とも横這いで推移していると詳細な状況説明あり、増強の必要性を痛感した次第であるが、クラブ奉仕部門での各クラブでの報告では、懸命に努力されており目標達成の見込みであるとのことに意を強くした。

職業奉仕部門の討議課題として「個人及びクラブとしての職業service」が採りあげられ、「職業奉仕とは難かしく何をやったらいいのか



わからない」ことに関し討議が行なわれ、田中リーダーより「自分の仕事を通じてまわりの人達に思いやりのサービスをする」と置き替えて考えれば何かが出来そうな気がする、と理解しやすいご教示を得た。

前述の如く、今回のI.G.F.には宮川分区代理が特に青少年奉仕部門を設けられ、インターアクト、ローターアクトについての討議が行なわれたが、特に佐藤P.G.より青少年の非行についてのご発言があり、高校、中学と非行が年々低学年に移行しつつあり、これからは小学生に対する働きかけが必要だと強調され、問題が提起された。その他の部門についても与えられた討議課題にもとづき、時間一杯熱心に討議が行なわれ、次期I.G.F.ホストクラブを稲沢R.C.に決定し、15時50分盛會裡に閉会した。



三河第二分区 I.G.F.開催報告

三河第二分区代理
山中 寛 三

三河第二分区の1983-84年度のI.G.F.は、去る3月4日(日)高浜R.C.のホストにより、高浜市中央公民館で下記の特別出席者をお迎えして、参加クラブ12R.C., 登録者数292名を得て盛大に開かれた。特別出席者(敬称略)

第260地区ガバナー

奥澤俊一

第260地区パストガバナー 加藤直一郎
第260地区ガバナーノミニー 奥谷博俊
第260地区三河第2分区代理 山中寛三

本年のI.G.F.は、原点に立ってロータリー全般についての勉強を目指し、運営は簡素にして内容を充実させることに重点をおいて計画を立て、議題については、クラブ奉仕、職業奉仕、

社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕部門にわけて、ワンフロアの会場で討論をする形式とした。

あらかじめ、分区内の12R.C.に疑問点と困っている点について、問題の提出を願い、かつ、各部門毎にリーダーとアドバイザーの助言をお願いすることにして、各クラブよりの問題については、I.G.F.開催日の半月前に「リーダー打



合会」を行った。リーダーは、分区内の各クラブより推せんをしていただき、アドバイザーは、短時間に明解な答弁をしていただくのに最適任者と信じて、地区委員の方々にご依頼申し上げた。三河第2分区では恐らく初めての試みであったし、当初分区外の方に出席して頂けるかどうか心配でしたが、幸いにも快くお引き受け頂き、胸をなでおろした次第である。

さすがにベテランの方たちであり、夫々の格な指導をしていただきかつ、参加者には満足感と多大の感銘を与えて下さったことに対し、紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。部門別リーダー及びアドバイザー（敬称略）

(1) クラブ奉仕部門（50分間）

リーダー：河合優（岡崎）

アドバイザー：地区クラブ奉仕研究小委員会 委員中村繁男（岡崎南）

(2) 職業奉仕部門（30分間）

リーダー：竹本千里（刈谷）

アドバイザー：地区職業奉仕研究小委員会 委員長水野民也（名古屋千種）

(3) 社会奉仕部門（40分間）

リーダー：鳥山幸男（西尾）

アドバイザー：地区社会奉仕研究小委員会 副委員長内山照美（豊橋南）

(4) 国際奉仕部門（40分間）

リーダー：鈴木和雄（安城）

アドバイザー：地区国際奉仕委員会 副委員長下郷弥太郎（名古屋東南）

(5) 青少年奉仕部門（40分間）

リーダー：佐々木努（豊田）

当日都合により代理として
分区代理山中寛三（碧南）

アドバイザー：地区青少年奉仕委員会

副委員長山内彊（豊橋北）

当日、特に議題になったのは、クラブ奉仕部門では、制定案83-124のテリトリーの問題と例会の出席について。職業奉仕部門では、職場例会と「四つのテスト」。社会奉仕部門では、継続事業と「超我の奉仕」。国際奉仕部門では、青少年交換学生の受け入れとロータリー財団について。青少年奉仕部門では、ローターアクトについて、の諸点であった。

何分にも、限られた時間という制約のため、十分な討議が出来なかったのが残念であり、各部門の中で問題点を絞っておく必要があったと反省している。

幸い天候に恵まれ、多数の参加者にもかかわらず、中途退席者もなく、最後まで熱心に討論に加わって下さったこと、当初の計画通り簡素の内にも、実りの多い議論が得られたことなど、I.G.F.の雰囲気への盛り上げに努力して下さったホスト高浜R.C.の皆さんの陰のお力に厚くお礼申し上げる次第である。

米山奨学会特別寄付報告

日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額	日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額	日付	クラブ名	個人 人数	寄付金額
2/2	あま	1名	30,000円	2/16	豊橋	2名	50,000円	2/24	名古屋西		300,000円
4	一色	1名	10,000円	17	豊橋北	1名	30,000円	27	刈谷	1名	60,000円
7	刈谷	4名	520,000円	17	豊橋北		8,000円	28	岡崎	1名	10,000円
8	名古屋北	1名	300,000円	18	名古屋空港	1名	120,000円	28	岡崎東		6,912円
9	東海		200,000円	18	名古屋空港		60,000円	29	あま	1名	30,000円
14	佐久	1名	50,000円	23	伊那	1名	60,000円	29	名古屋		208,000円
16	岡崎	3名	30,000円	24	飯島	1名	50,000円	29	名古屋東南		200,000円
									計		2,332,912円

地区ニュース

本年度の第5回地区諮問委員会が、去る3月10日(土)11時半より名鉄グランドホテルにおいて開催されました。

第5回諮問委員会議題

- (1) 1984-85年度地区組織並びに人事に関する件
- (2) 1984-85年度地区予算に関する件
- (3) 1984-85年度のための地区協議会に関する件
- (4) 1984-85年度地区大会の件
- (5) 1984-85年度ロータリー財団奨学生選考委員に関する件
- (6) その他

1985-1986年度

ロータリー財団奨学生選考委員決まる

去る3月10日(土)に開催された第5回地区諮問委員会において、選考委員として下記の方々承認されました。

ガバナー	奥澤俊一(松本南)
ロータリー財団委員長	北野幾造(長野)
バスト・ガバナー	鮎谷賢太郎(名古屋)
"	大隈孝一(名古屋)
ガバナー・ノミニ	奥谷博俊(尾張旭)
財団学友会小委員長	千村幸男(名古屋西)
財団奨学金小委員長	小山福松(名古屋和合)
財団奨学金委員	高沢隆(豊橋)
"	牧野達郎(常滑)
"	木村武夫(飯田南)
"	春日善文(長野)
他に語学担当	南山大学に委嘱

災害に援助の手を

先週、南アフリカを襲った台風により、ナタル及びスワジランド地域が広域にわたって洪水の被害を受け、何万という人々が住居を失い、食糧や医薬品の援助もないまま途方に暮れております。第925、927地区のクラブが現在、急を要する大規模な救護活動に当たっておりますが、緊急に資金援助を必要としておりますので、援助を希望されるクラブは、「第927地区水害救済資金」と明記し、国際ロータリーを受取人として在日財務代行者までご送金願います。(2/7)

公式訪問日程

3月14日(木) 尾張中央

おめでとう

新ポール・ハリス・フェロー

12月26日	森川邦造	(小牧)
12月26日	西川豊長	(名古屋千種)
12月26日	伊藤善朗	(名古屋北)
12月26日	大島清	(名古屋南)
12月26日	丸山喜平	(刈谷)
12月26日	大音龍尾	(刈谷)
12月26日	三浦博	(刈谷)
12月26日	水越勝	(刈谷)
12月28日	梶山正弘	(名古屋東)
12月28日	藤本潔	(名古屋北)
12月28日	三沢茂雄	(辰野)
12月28日	日下部猛	(刈谷)
12月28日	石川一生	(刈谷)
12月28日	杉山雅彦	(刈谷)
12月28日	嶋津邦也	(刈谷)
12月28日	黒田義之	(刈谷)
12月28日	石原鈞	(刈谷)
12月28日	竹本千里	(刈谷)
12月28日	野村重彦	(刈谷)
12月28日	角岡捷弘	(刈谷)
12月28日	寺澤健治	(刈谷)
12月28日	水谷隆男	(豊橋)
12月31日	小宮山源次	(小諸)
12月31日	荻原雅隆	(小諸)
12月31日	林輝幸	(小諸)
12月31日	内藤夏雄	(小諸)
12月31日	大西猛	(小諸)
12月31日	山本典嗣	(豊橋)
12月31日	内藤周次	(豊橋)
12月31日	梅林昌彦	(豊橋)
12月31日	伊藤昭彦	(豊橋)
12月31日	伊藤松太郎	(豊橋)
12月31日	沓掛信敏	(上田)
12月31日	武田兵助	(上田)
12月31日	宮坂裕	(上田)
12月31日	久保村保市	(伊那)
1月10日	大橋忠泰	(名古屋北)
1月13日	吉村和志治	(名古屋北)
1月17日	小堤裕三	(名古屋西)
1月17日	宮田正直	(名古屋西)
1月17日	松下晴人	(松川)
1月19日	山口春三	(名古屋北)
1月19日	松尾暁樹	(名古屋北)
1月20日	神谷邦雄	(豊橋北)
1月20日	早川昌昭	(豊田東)
1月27日	吉川久夫	(あま)
1月27日	二宮亮	(名古屋西)
1月27日	杉浦友平	(西尾)
1月27日	磯貝弥代吉	(西尾)

名古屋熱田ローターアクト・クラブ誕生

かねてより設立が待望されておりました、名古屋南、名古屋東南、名古屋瑞穂の3 R.C.提唱による名古屋熱田ローターアクト・クラブが、3月15日熱田神宮会館において創立総会を行い、地区内12番目、愛知県内7番目のクラブとして会員46名で誕生しました。

創立総会は、18時30分長谷設立準備委員長の点鐘によってはじまり、小林名古屋南R.C.会長の提唱R.C.会長挨拶、長谷準備委員長の経過報告のあと議事に入り、定款、細則の採択、理事役員、地区委員の選出を行い、坂本名古屋東南R.C.会長より寄贈品目録贈呈、奥澤ガバナー、川瀬地区青少年委員長、豊田R.A.地区代表から祝辞、一ノ瀬新R.A.C.会長の就任挨拶、新クラブ会員紹介があって、ひとまず総会を終了。別席において真野地区R.A.委員長の音頭により乾杯。参加者一同夕食を共にしての歓談後、判治名古屋瑞穂R.C.会長の万歳三唱で20時無事創立総会を終了しました。

この新鋭R.A.C.の参加によって、会員増強に苦勞する地区内R.A.C.に多大の活力を与えるものと今後が期待されます。

名古屋市内14 R.C.社会奉仕委員長会議報告

名古屋東南R.C.からのご連絡によれば、名古屋市内の14クラブの第3回社会奉仕委員長会議が去る2月23日(木)、名古屋ライトハウス明和寮内会議室において、14:30より名古屋東南R.C.のホストで下記議題について開催されたとのことであります。

議事(1) 名古屋ライトハウス近藤理事長に対し自動丁合機を寄贈。

議事(2) 各クラブは同理事長から感謝状を受領。

議事(3) 重度身体障害授産施設明和寮及び隣地の港ワークキャンパスを見学

議事(4) 今後の事業計画について

(4)-1 中国残留孤児援護基金の寄付について

(4)-2 今後の進め方について

(4)-3 その他

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

2月18日	浅井 保幸 殿 (一 宮)
2月18日	光崎 一夫 殿 (尾 西)
2月25日	尾関 誠一 殿 (名 古 屋)
2月25日	森田 茂 殿 (尾 張 旭)
2月27日	渋谷 藤登 殿 (伊 那)

松本地区で新クラブ設立の動き

愛知県下で尾張中央R.C., 長野地区で長野北R.C.に続き、松本地区でも松本R.C.をスポンサーとする新クラブ設立の動きが順次具体化し、特別代表及びガバナー・エイドに同クラブの神沢伯郎君、原 秀好君がそれぞれ委嘱され、4月20日頃に創立総会を開催の予定で準備を進めております。

バーミンガム大会参加者に ロータリーの友英語版携行のおねがい

ロータリーの友委員会の松平委員長より下記趣旨のおねがいが参りましたのでお知らせ致します。

——ロータリーの友英語版第20号誌が4月初旬刊行の運びとなりました。この第20号誌では日本の主要実績を1頁に要約掲載したほか、日本の文化経済産業など海外向けにふさわしい記事を多数掲載してあります。

この雑誌をバーミンガム国際大会に参加される方々にぜひ多少なりともご携行願ひ、大会場で同席される外国ロータリアンにご配布いただき、日本について理解を深めていただきたいと念願しております。第20号誌掲載の一般記事の要が「ロータリーの友」4月号に載りますのでご覧下さい。申し込方法は以下の通りです。

頒 価 1部500円(千込)

申込方法 クラブ事務局を通じて電話か葉書などで

申 込 先 〒105 東京都港区芝公園2-6-3
a b c 会館 8 F

ロータリーの友事務所

電話 03-436-6651

財団奨学生オリエンテーションの追加

去る1月5日(木)に開催された1984年派遣のロータリー財団奨学生のためのオリエンテーション(月信8号8頁に既報)に留学中のため参加できなかった2名の奨学生に対し、2月21日(火)名古屋観光ホテルにおいて追加オリエンテーションが開催されました。5名の奨学生については月信6号2頁をご覧下さい。

お し ら せ

◎上田R.C., 上田東R.C.の事務局がありました上田商工会議所がこの度新築移転をするため当分の間、事務局住所を下記に移します。電話は従来通りです。

上田市大手1-8-11 竹内ビル2 F

長野北ロータリー・クラブ誕生

3月1日、長野北R.C.創立総会がホテル長野国際会館において盛大に挙行されました。式は長谷部創立会員の司会により、木村特別代表の点鐘、開会のことばにより始まり、設立経過報告、創立会員紹介の後議事に入り、クラブ定款、細則の決議、理事、役員の選出、R.I. 加盟申請書の提出により議事を終了。来賓として奥澤ガバナー、北野パスト・ガバナー（地区拡大カウンセラー委員長）、塚田東北信分区代理、小笠原スポンサークラブ会長が夫々祝辞を述べ、木村特別代表の閉会のことば、点鐘により無事創立総会を終了しました。引続いて、記念撮影後午餐会に入り、来賓、長野東R.C.参加者、創立会員が共に新クラブの前途を祝し合いました。ご発展を心よりお祈り申し上げます。

長野北ロータリー・クラブ

会 長 真木 茂雄
幹 事 長谷部好一

会員数 36名
例会日 木曜日 12:30
例会場 ホテル長野国際会館
長野市県町 576
TEL 34-1111
事務所 例会場と同じ

ローターアクト年次大会への出席のおさそい

前号にもご案内いたしましたように、地区ローターアクト第7回年次大会が4月29、30日に松本市において開催されます。

本年RAC地区テーマ「未来を築こう！アクトの力で」の方針に基づき、親睦と友情を深め地方色豊かな雰囲気になった大会とすべくホストの皆さん大いに頑張っております。

当日は、千葉大学の多湖輝先生の記念講演を行うほか、「友愛の場」と称して自由討論会を実施、理解と友情づくりを図るなど企画しているとのことです。ローターアクターはもとより、より多くのロータリアンのご参加をお待ち申し上げます。

地区内クラブ別会員増加数 1984年2月末現在

分 区	クラブ名	6月末比 増減	分 区	クラブ名	6月末比 増減	分 区	クラブ名	6月末比 増減	分 区	クラブ名	6月末比 増減
尾 張 第 一 分 区	半 田	+3	分 区	名古屋空港	-5	三 河 第 二 分 区	安 城	-2	上 田 東	上 田 東	+3
	半 田 南	+3		尾 張 旭	-2		安 碧	+4		13C	+28
	東 知 多	●+4		瀬 戸	0		一 色	-4		茅 野	+2
	名 古 屋	●+19		瀬 戸 北	-1		刈 谷	+2		富 士 見	0
	名古屋千種	●+5		9C	-5		西 尾	●+5		白 馬	-4
	名古屋東	+3	西 尾 張 分 区	あ ま	+1		岡 崎	+1	南 信 第 一 分 区	木 曾	0
	名古屋北	+2		尾 西	0		岡 崎 東	●+4		松 本	+1
	名古屋北北	●+4		一 宮	+4		岡 崎 南	+2		松 本 南	+2
	名古屋東東	-1		一 宮 北	+3		高 浜	+3		松 本 西	●+4
	名古屋南	+4		稲 沢	0		豊 田 東	+1		岡 谷	●+4
	名古屋港	+2		西 春 日 井	●-5		豊 田 西	●+5		大 塩	●+4
	名古屋瑞穂	+3		尾 張 中 央	●+33		12C	+21		尻 沓	-1
	名古屋守山	+3		津 島	+4		軽 井 沢	-3		11C	+13
	名古屋中	●+6		8C	+40	東 北 信 分 区	小 丸	●+6	南 信 第 二 分 区	飯 田	+1
	名古屋西	●+18		渥 美	+2		丸 子	-3		飯 田 南	+4
	名古屋東南	●+5		蒲 郡	+1		南 佐	-1		飯 田 島	●+3
	名古屋和合	●+7		奥 三 河	0		長 野 東	●+6		飯 伊 那	+3
	東 海	+2		新 城	+3		長 野 南	●+6		駒 ケ 根	●+5
	常 滑	●+7		田 原	●+6		長 野 中	●+4		松 川	●+4
	19C	+99		豊 橋	0		須 佐	+2		箕 輪	-2
東 尾 張	大 山	+1		豊 橋 北	●+13		戸 倉 上 山 田	+3		8C	+17
	岩 倉	●+4	分 区	豊 橋 南	+3		上 田	+1		計 89 クラブ	+246
	春 日 井	+1		豊 橋 南 川	●+5		上 田	0			
	小 牧	-2		9C	+33						
	江 南	-1									

●印は、会長賞プログラム目標に到達したものの。

昭和59年 2 月 度 分 区 別 会 員 数 及 び 出 席 率

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 月 数	増 減
尾 張 第 一 分 区	半 田	66	94.85	4	66	0
	半 田 南	46	99.42	4	46	0
	東 知 多	48	91.84	3	45	+ 3
	名 古 屋	226	96.21	4	224	+ 2
	名古屋千種	52	98.61	4	52	0
	名古屋東	95	99.20	4	93	+ 2
	名古屋北	98	100.00	4	98	0
	名古屋名北	55	100.00	4	56	- 1
	名古屋名東	53	100.00	4	54	- 1
	名古屋南	118	99.80	5	118	0
	名古屋港	105	99.75	4	107	- 2
	名古屋瑞穂	63	99.20	4	63	0
	名古屋守山	82	99.57	3	81	+ 1
	名古屋中	100	98.96	4	98	+ 2
	名古屋西	150	98.95	4	150	0
	名古屋東南	85	100.00	4	85	0
	名古屋和合	83	100.00	5	78	+ 5
	東 海	50	98.80	5	50	0
	常 滑	63	98.02	4	63	0
	19 C	1,638			1,627	+11
東 尾 張 分 区	犬 山	76	100.00	4	77	- 1
	岩 倉	34	100.00	4	34	0
	春 日 井	83	100.00	4	83	0
	小 牧	63	100.00	5	63	0
	江 南	64	100.00	4	62	+ 2
	名古屋空港	63	99.60	4	63	0
	尾 張 旭	46	98.94	4	47	- 1
	瀬 戸	76	99.47	5	76	0
	瀬 戸 北	50	99.50	4	50	0
	9 C	555			555	0
西 尾 張 分 区	あ ま	74	98.31	4	74	0
	尾 西	53	98.63	4	55	- 2
	一 宮	86	99.59	3	86	0
	一 宮 北	76	100.00	4	76	0
	稲 沢	52	100.00	5	51	+ 1
	西 春 日 井	65	98.82	4	64	+ 1
	尾 張 中 央	33	100.00	5	(31)	+33
	津 島	75	99.23	4	75	0
	8 C	514			481	+33
三 河 第 一 分 区	渥 美	59	92.20	5	59	0
	蒲 郡	73	98.29	4	73	0
	奥 三 河	52	93.59	3	52	0
	新 城	50	93.50	4	50	0
	田 原	71	97.18	4	72	- 1
	豊 橋	117	99.77	4	116	+ 1
	豊 橋 北	107	99.76	4	105	+ 2
	豊 橋 南	71	99.23	4	70	+ 1
	豊 川	83	96.93	5	83	0
	9 C	683			680	+ 3

分 区	クラブ名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 会 員 月 数	増 減
三 河 第 二 分 区	安 城	70	100.00	4	71	- 1
	碧 南	72	98.01	5	73	- 1
	一 色	48	97.91	4	48	0
	刈 谷	85	98.97	4	83	+ 2
	西 尾	78	98.99	4	79	- 1
	岡 崎	89	100.00	5	90	- 1
	岡 崎 東	61	98.72	4	61	0
	岡 崎 南	79	100.00	4	80	- 1
	高 浜	46	97.10	4	44	+ 2
	豊 田	88	100.00	4	86	+ 2
	豊 田 東	60	99.32	5	60	0
	豊 田 西	73	99.66	4	73	0
	12 C	849			848	+ 1
東 北 信 分 区	軽 井 沢	38	97.37	4	39	- 1
	小 諸	60	99.16	4	60	0
	丸 子	37	89.85	4	37	0
	南 佐 久	26	69.00	4	25	+ 1
	長 野	94	97.07	4	94	0
	長 野 東	78	96.05	5	79	- 1
	長 野 南	35	92.85	4	35	0
	中 野	48	94.27	4	48	0
	佐 久	40	98.03	4	39	+ 1
	須 坂	46	95.50	4	46	0
	戸倉上山田	39	95.51	4	37	+ 2
	上 田	59	96.39	5	61	- 2
	上 田 東	53	94.35	5	53	0
	13 C	653			653	0
南 信 第 一 分 区	茅 野	28	84.99	5	28	0
	富 士 見	33	87.87	4	33	0
	白 馬	37	83.78	4	37	0
	木 曾	49	97.84	4	49	0
	松 本	75	100.00	4	75	0
	松 本 南	78	99.64	4	79	- 1
	松 本 西 南	51	92.15	4	49	+ 2
	岡 谷	65	96.54	4	62	+ 3
	大 町	63	96.18	5	61	+ 2
	塩 尻	39	98.08	4	39	0
	諏 訪	61	94.26	4	61	0
	11 C	579			573	+ 6
南 信 第 二 分 区	飯 田	85	99.70	5	85	0
	飯 田 南	77	100.00	4	78	- 1
	飯 島	36	93.54	4	36	0
	伊 那	85	98.31	4	85	0
	駒 ケ 根	65	98.68	4	65	0
	松 川	55	96.79	4	52	+ 3
	箕 輪	30	97.50	4	30	0
	辰 野	48	100.00	5	49	- 1
	8 C	481			480	+ 1
計	89 クラブ	5,952			5,897	+55